

重点目標一覧表

担当部局名	健康こども未来部
-------	----------

【平成28年度重点目標】		【平成29年度重点目標】		
重点目標	健康都市を目指した健康づくり事業の推進	重点目標	健康都市を目指した健康づくり事業の推進と未来につながる健康づくり計画の策定	
具体的な重点取組項目（箇条書き）		具体的な重点取組項目（箇条書き）		
達成状況・達成度		期限・数値目標等		
1	<p>「健康幸せづくりプロジェクト事業」の推進</p> <p>(1)学校等との連携による「子どもの身体づくりの基本、正しい姿勢の保持」の啓発</p> <p>(2)30歳代若年健診事業 (3)妊婦歯科健診の実施</p> <p>(4)対象者に応じた受診勧奨の強化（電話、訪問等）</p> <p>(5)健康づくりチャレンジポイント制度の実施</p> <p>(6)全市民健康ウォーキング事業の実施</p> <p>(7)地域健康ウォーキング事業の実施</p> <p>(8)ロイヤルシールド予防を健康推進委員と協働で地域に普及啓発</p> <p>(9)インターバル速歩実践講座修了者継続事業</p> <p>(10)健康クラウドシステムの運用（H27-H28の2か年事業）</p> <p>(11)あたま・からだ元気体操の実施</p> <p>(12)健康づくり講演会（腎臓を守るためのソボジウム、運動と健康づくり講演会）</p> <p>生活習慣病から腎臓を守るための食（育）指導の実施</p> <p>(1)野菜ノートの作成と活用</p> <p>こころの健康づくりの推進</p>	<p>(1)保育園での運動指導9園年間各4回・園児数：延べ864名 6/23子どもの身体づくり講演会50名、学校保健委員会での姿勢講演会2校</p> <p>(2)受診者数：410名 (3)受診者数：374名(H29年2月末)</p> <p>(4)電話：1,509件、訪問：1,335件</p> <p>(5)参加者数：4,018名、対象事業数：285件</p> <p>(6)参加者：411名（総合型地域スポーツクラブ委託）</p> <p>(7)公民館・自治会連携：414名、ひとまちげんきクラブ「歩いて健康」：323名</p> <p>(8)広報2回掲載、健康推進委員地区ブロック会で健康教室31回開催、参加者数：669名</p> <p>(9)実践講座修了者36名(前期：22/27名、後期14/20名) 継続参加者18/36名 継続率50%</p> <p>(10)協会けんぽのデータを含めた分析を実施</p> <p>(11)6月～10月まで5か月間実施 延べ4,133名参加</p> <p>(12)10/23慢性腎臓病予防シンポジウム参加者500名、10/30金丸弘美氏講演会130名、12/18荻原次晴氏講演会150名</p> <p>野菜ノート4,000部作成、若年者を中心に配布</p>	<p>「健康幸せづくりプロジェクト事業」の推進</p> <p>(1)子どもの健康づくり支援 保育園運動プログラム「チャレンジキッズ」の実施【実施園9園を18園に拡大】</p> <p>(2)若い世代からの健康づくり支援 ア 30歳代若年健診の実施 イ 妊婦歯科検診の実施【無料化】 ウ 二十歳（はたち）無料歯科検診の実施【新規】</p> <p>(3)健康づくりチャレンジポイント制度の実施</p> <p>(4)健康ウォーキング事業の実施</p> <p>(5)インターバル速歩実践講座事業の実施</p> <p>(6)あたま・からだ元気体操の実施【実施会場4箇所を6箇所に拡大】</p> <p>「第三次上田市民総合健康づくり計画」の策定</p> <p>糖尿病重症化予防の推進</p> <p>(1)糖尿病予防シンポジウムの開催</p> <p>(2)糖尿病性腎症重症化予防プログラムの作成</p> <p>(3)プログラムに基づいた保健指導の実施</p> <p>(4)対象者（健診中断者）に応じた受診勧奨の強化（電話、訪問等）</p> <p>「第二次食育推進計画」の策定</p> <p>こころの健康づくりの推進</p> <p>(1)壮年期・思春期に携わる人を対象とした「ゲートキーパー研修」の実施</p> <p>(2)こころ、自殺予防に関する担当者会議等を通じた情報共有及び検討</p> <p>(3)市の自殺対策計画策定（第三次市民総合健康づくり計画「こころの分野」に位置付け）【新規】</p>	<p>(1)(新規)市立保育園9園(継続支援)9園 計18園</p> <p>(2) ア 受診者数：500人 イ 受診者数：600人 ウ 対象者数：1,600人、受診者数：250人</p> <p>(3)新規参加者数：1,000人（総参加者数：5,000人）</p> <p>(4)年間参加者数：1,200人</p> <p>(5)新規参加者の継続率：50%以上</p> <p>(6)参加者数：6,000人（延べ） 年度内に計画策定</p> <p>(1)参加者数：350人</p> <p>(2)医療機関との共有</p> <p>(3)対象者：500人中実施者250人（実施率50%）</p> <p>(4)受診勧奨者数：2,000人 年度内に計画策定</p> <p>(1)1コース3回（全2コース）、フォロー研修：年2回</p> <p>(2)年2～3回</p> <p>(3)年度内に計画策定</p>
	2	<p>救急医療体制の整備と医師確保による地域医療体制の充実</p> <p>安定的な医師確保体制の整備と充実</p> <p>(1)上田市医師確保修学資金等貸与制度の実施</p> <p>(2)信州上田医療センターの医師確保事業への支援</p> <p>(3)医師募集パンフレットの作成</p> <p>救急医療体制の確保</p> <p>(1)内科・小児科初期救急センターの運営と周知</p> <p>(2)深夜・休日の初期救急患者受入体制の整備</p> <p>(3)病院群輪番制病院と後方支援病院の信州上田医療センターへの支援</p> <p>地域の医療環境を守るため、医療機関の役割を広報し、適切な受診を推奨</p>	<p>(1)新規1人貸与、修学資金貸与者5名同センターへ勤務</p> <p>(2)医師数が29年3月現在61人</p> <p>(3)医師募集パンフレットの作成</p> <p>(1)救急センターの運営とチラシを作成</p> <p>(2)輪番病院での受入体制を確保</p> <p>(3)二次救急医療機関への支援</p> <p>「広報うえだ」にて市民に周知</p>	<p>安定的な医師確保体制の整備と充実</p> <p>(1)上田市医師確保修学資金等貸与制度の実施及び制度の検証</p> <p>(2)信州上田医療センターの医師確保事業への支援</p> <p>救急医療体制の確保</p> <p>(1)内科・小児科初期救急センターの運営と周知</p> <p>(2)深夜・休日の初期救急患者受入体制の整備</p> <p>(3)病院群輪番制病院と後方支援病院の信州上田医療センターへの支援</p> <p>地域の医療環境を守るため、医療機関の役割を広報し、適切な受診を推奨</p>
3	<p>安心して子育てができる環境の整備と事業の推進</p> <p>上田市保育園等運営計画に基づく保育施設の整備</p> <p>(1)神川地区統合保育園の整備</p> <p>(2)丸子地区統合保育園（みなみ、東内、わかさ三園統合）の整備</p> <p>子育てひろばの充実</p> <p>(1)中塩田児童クラブ開催日拡充 (2)講座・おもちゃ交換会開催</p> <p>地域における子育て支援の充実</p> <p>(1)わくわくファミリーフェスタ参加者増、(2)パパカレッジ開催</p> <p>子育て世代包括支援センターの運営</p> <p>(1)相談体制の整備、コーディネーターの連携</p> <p>幼保小中の連携の推進（スタートカリキュラムに向けての連携）</p> <p>(1)川辺小学校と川辺保育園 (2)塩田西小学校と西塩田保育園</p> <p>(3)丸子北小学校と長瀬保育園 (4)傍陽小学校とそえひ保育園</p> <p>結婚・子育て応援サイト、アプリ構築</p>	<p>(1)実施設計発注、用地取得完了、地元合意</p> <p>(2)地元説明会の開催、道路計画案等提示</p> <p>(1)週5日・3時間 (2)講座修了者18人 おもちゃ交換会開催</p> <p>(1)フェスタ761人参加 (2)パパカレッジ講演105人講座200人参加</p> <p>(1)母子保健コーディネーターの設置 (2)連携会議12回開催</p> <p>新たに4校4園を加え、16校17園で実施</p> <p>結婚～子育て応援サイト及びアプリを市民協働による構築</p>	<p>上田市保育園等運営計画に基づく保育施設の整備</p> <p>(1)神川地区統合保育園の整備</p> <p>(2)丸子地区統合保育園（みなみ、東内、わかさ三園統合）の整備</p> <p>地域における子育て支援の充実</p> <p>(1)子育てサポーター養成講座を開催</p> <p>(2)地域で活躍している子育て支援団体との連携</p> <p>ア わくわくファミリーフェスタ開催、イ パパカレッジ上田開催</p> <p>子育て世代包括支援センターの機能充実</p> <p>(1)母子保健と子育て連携強化 (2)地域連携 (3)見守りし合わせ支援実施【新規】</p> <p>幼保小中の連携の推進（スタートカリキュラムに向けての連携）</p> <p>(1)神川小学校と園分保育園 (2)清明小学校と南部保育園</p> <p>(3)西小学校と北保育園 (4)川西小学校と泉田保育園</p> <p>子育て支援情報発信の充実(1)サイト・アプリ運営(2)子育て情報内容充実</p>	<p>(1)造成工事、建設工事発注</p> <p>(2)地元協議継続、用地測量、地盤調査</p> <p>(1)養成講座修了者 15人</p> <p>(2) ア 参加者600人 イ 親子交流講座5回開催</p> <p>(1)連携会議12回開催 (2)地域巡回各所月2回 (3)支援員登録10人</p> <p>新たに4校4園を加え、20校21園で実施</p> <p>(1)サイト内容更新月10回 (2)ハンドブック更新発行、メール配信月1回</p>
	4	<p>安全・安心な医療の提供と魅力・活気ある病院づくり</p> <p>安全で安心な医療の提供及び医療サービスの向上</p> <p>(1)医療スタッフの確保</p> <p>(2)信州上田医療センターとの役割分担による連携と関係強化</p> <p>(3)医療サービス向上のため医師と看護スタッフの共同研修、検討会の実施</p> <p>(4)助産実践能力習熟度段階レベル 取得、助産技術のスキルアップ</p> <p>母乳育児の推進強化（BFH認定継続）</p> <p>(1)母乳育児率データ集積と分析及びそれを活用した早期アプローチの構築</p> <p>(2)母乳育児に係る情報の共有と意識の統一</p> <p>婦人科外来診療の充実</p> <p>(1)女性の要望に応えた不妊治療等婦人科外来の充実</p> <p>(2)婦人科良性疾患の手術の定期的実施</p> <p>啓発活動の実施</p> <p>(1)出前講座「命の学級」の実施・検診等による自己管理意識の啓発</p> <p>(2)子宮がん検診等実施機関として健康に対する自己意識の啓発</p> <p>新公立病院改革プランの作成とそれに基づく料金の適正な設定</p>	<p>(1)医師については、常勤医師の雇用を模索した中、非常勤医師の雇用により常勤換算した結果3人を確保、常勤の助産師3人、看護師1名を新たに採用</p> <p>(2)信州上田医療センター産婦人科との役割分担を明確化</p> <p>28年度実績 産婦人科外来紹介35件、母体搬送13件</p> <p>小児科連携92件、検査科連携106件、合同症例検討会3回14症例</p> <p>(3)院内症例検討、看護勉強会を定期的に実施</p> <p>(4)助産実践能力習熟度段階レベル 4人取得</p> <p>(1)退院時母乳育児率対前年比3.9%増加(H27:76.1% H28:80.0%)</p> <p>(2)母乳育児支援委員会等を組織し施策推進体制を強化</p> <p>(1)不妊治療の初期治療であるAIHを実施 5人延15回</p> <p>(2)婦人科手術を7件実施（うち腹腔鏡手術6件）</p> <p>(1)命の学級11校</p> <p>(2)子宮がん検診287件、特定健診22件</p> <p>新公立病院改革プランの作成とそれに基づく料金の適正な設定</p> <p>平成28から32年度までの新公立病院改革プラン策定</p> <p>運営審議会へ諮問、答申を受け条例改正、平成29年4月1日より施行</p>	<p>安全で安心な医療の提供及び医療サービスの向上</p> <p>(1)医療スタッフの確保</p> <p>(2)信州上田医療センターとの役割分担による連携と関係強化</p> <p>(3)医療サービス向上のための看護スタッフ教育計画によるレベルアップ研修の実施</p> <p>母乳育児の推進（BFH認定継続）</p> <p>(1)母乳率データ集積・分析による母乳率増加へのアプローチ体制の構築</p> <p>(2)母乳育児に係る情報の共有と意識の統一</p> <p>妊娠・出産から産後ケアまでの継続的支援体制の構築【新規】</p> <p>(1)看護スタッフと行政との情報共有による支援体制の構築</p> <p>(2)母乳外来開始に向けた体制検討</p> <p>婦人科外来診療の充実</p> <p>(1)女性の要望に応えた不妊治療等婦人科外来の充実</p> <p>(2)婦人科良性疾患の手術の定期的実施</p> <p>啓発活動の実施</p> <p>(1)出前講座「命の学級」の実施・検診等による自己管理意識の啓発</p> <p>(2)子宮がん検診等実施医療機関としての受け入れ実施</p> <p>新病院改革プランの進捗管理</p> <p>(1)点検・評価の実施と見直し</p> <p>(2)点検・評価結果の公表</p>

重点目標	多様なニーズに応えるきめ細かな子育て支援施策の充実		重点目標	多様なニーズに応えるきめ細かな子育て支援施策の充実	
5	具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	
	発達支援体制の強化 (1)発達支援事業の啓発の強化 ア ガイドブック作成、小中学校等に配布 イ 市民向け発達講演会年1回開催 (2)発達相談・支援の充実 ア 各保育園に対する相談事業、巡回指導を実施 イ 支援の継続のための関係者会議の開催 (3)発達支援に関する支援者の資質の向上【定住自立圏取組項目】 ア 支援者向け研修会を開催 イ 公開保育、発達支援担当保育士学習会、児童発達支援センター研修を実施 ウ 保育所職員を対象とした研修会を開催 虐待予防と早期発見、適切な対応のための体制づくり (1)講演会を開催 (2)代表者会議、実務者会議を開催 ひとり親家庭への支援の充実 (1)支援制度説明会を開催 (2)就業支援講習会パンフレット送付 (3)ひとり親世帯の交流の場の提供	(1) ア ガイドブックを2,000部作成、学校等関係機関へ配布 イ 講演会 11月5日開催 参加者241人 (2) ア 相談事業、巡回指導各48回実施 イ 連携会議を5回開催 (3) ア 研修会 8月2日開催 参加者122人 イ 公開保育 10/20神科第二保育園、学習会5、7、1月実施、 児童発達支援センター研修 6月、10月実施 ウ 10/28、11/16実施 (1)講演会 11月22日開催 140名参加 (2)代表者会議2回、実務者会議3回開催 (1)8月の現況届時に説明。 8月28日心配ごと相談会実施 28名参加 (2)パンフレットを1,517世帯に送付 (3)ふれあいバスツアー（ディズニールランド）2回開催。 158名参加	発達支援体制の強化 (1)発達支援事業の啓発の強化 ア ガイドブックを作成し、市民向け出前講座や小中学校等に配布 イ 市民向け発達講演会 年1回開催 (2)発達相談・支援の充実 ア 各保育園に対する相談事業、巡回指導を実施 イ 継続的な支援・効果的な支援に向けて支援ノート「つなぐ」利用促進 ウ 医療機関・大学等との連携により、地域内での発達支援を拡大 (3)発達支援に関する支援者の資質の向上【定住自立圏取組項目】 ア 支援者向け研修会を開催 イ 公開保育、発達支援担当保育士学習会、児童発達支援センター研修を実施 ウ 保育所職員を対象とした研修会を開催 エ 上田地域定住自立圏検討会議の開催 虐待予防と早期発見、適切な対応のための体制づくり (1)虐待予防の啓発活動、講演会の開催 (2)虐待予防の地域ネットワークとして、要保護児童対策地域協議会開催 ひとり親家庭への支援の充実 (1)ワンストップ相談会(弁護士・社会保険労務士等の専門家による心配ごと相談会)の実施 (2)就労支援情報の提供 (3)ひとり親家庭の交流の場の提供	(1) ア ガイドブックを2,000部作成、学校等関係機関へ配布 イ 講演会 10月 (2) ア 相談事業、巡回指導各48回実施 イ 広報うだへPR掲載、保護者の希望で追加のファイルを郵送 ウ 各関係機関と調整会議を開催 (3) ア 研修会 8月 イ 公開保育10/25長瀬保育園、学習会 5、7、1月実施、 児童発達支援センター研修 6月、9月実施 ウ 10月、11月に2回実施 エ 保育課2回、発達相談センター2回開催 (1)講演会1回開催 (2)協議会2回開催 (1)現況届の提出時期(8月) (2)就労支援情報送付1600世帯 (3)親と子の交流会2回開催	
評価基準 [: 目標を上回る達成] [: 目標どおり達成] [: 目標未達成の部分あり] [× : 全て目標未達成]					
市長指示事項			市長指示事項		
・「健康幸せづくりプロジェクト」の参加者増を図ること、・地域医療体制の充実に引き続き取り組むこと、・統合保育園の2件については、合意形成・課題解決に向け鋭意取り組むこと、・子育て環境の整備、事業の推進はさらに強化すること、・産婦人科病院の不妊治療支援のあり方については検討していくこと、・発達支援体制については、成果をにらみながら対応すること、・依田窪病院への対応についても部局間で連携して取り組むこと、・私立保育園の助成制度についてはよく検討すること。			・地域の救急医療について、信州上田医療センターの救急部設置を急ぐべき、市としてもアピールをしていくこと、 ・統合保育園において、子どもと高齢者との世代間交流の実施などソフト部分を検討すること、 ・信州上田医療センターでのがん診療等の機能の充実を図るため、医師確保について広域レベル、市単独レベルの役割を踏まえて検討すること。		